

使途不明金問題に対するご報告とお詫びについて

長野県ソフトテニス連盟

このたび、元理事長による長野県ソフトテニス連盟（以下「県連」）における不明金に関する一連の問題につきまして、関係各位の皆様には多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを、心より深くお詫び申し上げます。

本件は、平成２７年度に発覚した使途不明金に端を発し、問題は長期にわたり解決を見ないままとなりました。さらに、公益通報を行った方に対して不利な対応がなされたことも、調査の過程で明らかとなりました。

また、当時「選手強化費」等の名目で支出された資金について、精算の過程が不透明であったことも判明し、県連として元理事長に対し、あらためて返還を強く求めた次第です。

しかしながら、問題の発覚から相当の年月が経過しており、支出に関する明確な根拠が乏しいことや、元理事長の主張と県連の見解に隔たりがあることなどから、議論は平行線をたどる結果となりました。さらに、法的には時効が成立しており、これ以上の措置を講じることができない状況となりました。

県連では、この事態を厳粛に受け止め、「在り方検討委員会」を設置し、過去の経緯を真摯に省みながら、今後の連盟のあるべき姿について慎重に検証を重ねてまいりました。

その結果、委員会より「答申」という形で報告を受け、事実関係の把握および問題の「総括」を行いました。

このような不祥事を二度と繰り返すことのないよう、今回の事案を厳粛に受け止め、これを教訓とし、今後の県連運営において健全性と透明性を確保すべく、以下のような改善策を徹底してまいります。

【組織運営の透明性の確保】

すべての支出に対して明確な証拠書類の添付を義務付け、会計処理の厳正化を図ります。

また、監査体制を強化し、独立性を担保するとともに、定期的な監査の導入を検討します。

【公金管理に関する意識改革】

県連の資金が会員の会費や行政・連盟からの補助金により成り立っていることを改めて認識し、適正かつ慎重な支出を徹底します。

目的外支出を禁止し、健全な財政運営を堅持します。

【組織内チェック機能の強化】

執行部内での馴れ合いを排除し、役員間で相互に監視・確認し合える体制を構築します。

また、重要事項の決定には複数の承認を要するルールを設け、独断的な運営を防止します。

【規約改正の実施】

会員の定義を明確にし、不祥事発生時に適切な措置が取れるよう規約の見直しを行います。

全体的な規約改定を行い、時代に即した適正な運営体制を整えます。

【公益通報制度の確立】

内部通報制度を整備し、問題発生時に迅速かつ適切な対応が可能となる体制を構築いたします。

通報者が不利益を被ることのないよう、通報者保護の仕組みを整えます。

県連は、今回の不祥事を深く反省し、再発防止と信頼回復に向けて、役員・関係者一同、誠心誠意取り組んでまいります。

改めまして、関係各位の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを、心より深くお詫び申し上げます。